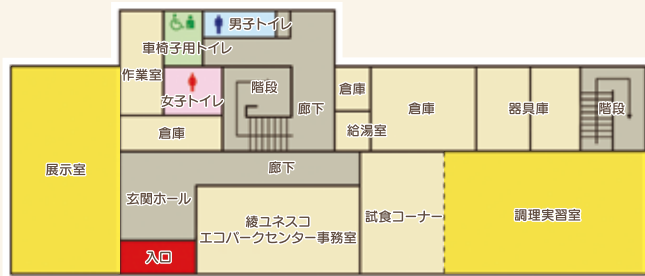


綾の照葉樹林やまちづくりについて解説するパネル、魚類などの水槽を展示します。綾町の雄大な自然を上空から撮影した動画なども放映予定です。ぜひご来館ください!



1F 見取り図



2F 見取り図



元綾中央医院を活用した綾ユネスコエコパークセンター



1F 展示室



綾町地域おこし協力隊 杉本 大 隊員

4月に一般社団法人を立ち上げ、センターの運営やユネスコエコパーク推進に関する業務の一部を担う予定です。皆さん、これからもよろしくお願ひします!

綾町の地域資源をテーマに調査研究に取り組む大学生や研究者の拠点です。将来的には、センター内にある綾町の照葉樹林やまちづくりに関する論文・書籍なども活用されます。



綾町地域おこし協力隊 曾我 傑 隊員



2F サテライトオフィス

かわいらしいインガメや子どもたちに人気のカエルなども見ることができますよ!



綾ユネスコエコパーク推進室 河野 円樹 主任主事

綾ユネスコエコパークセンター 「知の拠点」がオープン!

調理台5台、コンロ5台、電磁調理器1台などを備えています。試食室もあります!加工品開発などに利用できます。

1F 調理実習室



包括的連携協定を結んでいる大学の学生や研究者が綾町での調査研究のために使うサテライトオフィスも入ることになり、綾町の「知の拠点」となることが期待されています。場所は西中坪地区で、元綾中央医院の建物を修復・改造(リノベーション)したものです。皆さんぜひお立ち寄りください。

ユネスコエコパーク(生物圏保存地域)として、日本最大の照葉樹自然林や、自然と共生する農業・産業・教育・社会活動などのさまざまな取り組みについて情報発信などの役割を担う「綾ユネスコエコパークセンター」が、4月にオープンします。ユネスコエコパークに認定された地域でこのような施設を開設するのは国内初。観光客や研究者が綾町に関する情報を共有・発信できるほか、6次産業化に向けた商品開発にも活用できる調理実習室や研修室、展示室などを備えており、地域の皆さんも交流や生涯学習のために利用することが出来ます。

60人収容でスクリーンやプロジェクターを備えています。会議や講座など多目的に使えます。2階には和室もあり、ざっくばらんな会議や交流会におススメです。



2F 研修室



ユネスコエコパーク通信

綾町と大学とが連携する研究の 中間報告会がありました



綾町が包括的連携協定を結んでいる宮崎大学と南九州大学による研究成果の報告会は3月1日に行われました。研究内容は、次の5点です。

- ①日向夏の結実に必要な役割を果たすミツバチを事例とした、生態系の保全と農産物のブランド化に関する研究
- ②川中製材所跡などの綾町の林業遺産登録に向けた空間情報データベースの構築や環境教育への活用に向けた提案
- ③小学6年生・中学3年生・保護者へのアンケートに基づく、綾町やユネスコエコパークに対する町民の意向の分析

④地域と連携した英語教育を通じた海外観光客への綾町の魅力発信

⑤ライチ・ブドウ栽培を事例とした、環境保全と持続可能な循環型農法の研究

報告会では、生態系の保全と有機農業の両立や環境教育について、研究者や行政職員の間で活発な議論が交わされました。連携協定に伴う研究は始まったばかりですが、綾町のまちづくりを後押しするため、今後も研究の成果が少しずつ積み重ねられていきます。

宮崎大学の学生が エコパーク推進室で就業体験

宮崎大学地域資源創生学部2年生の今村里緒さん、黒木まなみさん、山出峻平さんが、2月19日から約1カ月間、就業体験をしました。綾町と包括的連携協定を結んでいる大学との会議準備や記録などの業務を手伝いながら、自然生態系農業の課題を探り、調査を行ったり農業体験をしたりしました。

コラム ニホンヤモリ

民家周辺などいつも私たちの身近にいて、害虫を食べてくれるので「家守」と書きます。体の大きさは10数センチ。風間は軒下や暗くて狭い場所に隠れています。夜間、明かりに集まってきた虫を捕食します。

環境に応じて体色の濃淡を変化させるほか、トカゲと同じように、敵に襲われたときなどには尻尾を自分で切り離して再生させることができます。

足の裏には、非常に細い毛が密集していて、壁の凹凸に接した時にできる引力を利用して垂直なガラス面にも張りついて活動することができます。この構造は、現在、NASAの接着テープや医療の現場など人間の科学技術にも応用されるほど優れているのです。

